

(様式2B) 個別箇所評価総括表【継続】(要領第5の2(1)関係)

分野	農業水利改良	事業番号、事業名	50 畑地帯総合整備(担い手支援)				補助・単独別	補助	農政部農地整備課		
番号	ふりがな 箇所名 〔市町村名〕	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		本年度末進捗率	進捗状況			
1	やまべ 山辺 〔松本市〕	農道 L=3,650m 畑地かんがい工 A=59.4ha 〔工期:H12~H23〕	農道 L=430m 畑地かんがい工 A=29ha	農道 L=2,500m	農道 L=2,500m	必要性 A	90.6%	計画どおり進んでいる。 H22年度に畑かん工事及び道路全区間の下 層路盤までが完了し、H23事業完了する。	生食用、ワイン用ブドウの産地であり、営農 条件の改善のための 畑地かんがい施設の 更新や農道整備など 事業の必要性は高く、 平成23年度完了を図る。	平成23年度での完了 を図る。	「継続」
						重要性 A	H20 計画変更 幹線道路 延長L=3,650m 地域に生息する希少種に配慮して、道路幅員を変更 7.0(5.5)m → 5.0(4.0)m				
						効率性 B	B/C(費用対効果)=1.12				
						緊急性 B	住民参加状況等 農道の維持管理については、地域全体で実施するよう検討中。				
2	おがわ 小川 〔川上村〕	用排水施設N=2箇所 用排水路L=800m 農道L=2,750m 農作業準備休憩施設 N=1箇所 〔工期:H22~H27〕	農道L=740m	用排水路 L=615m 農道L=190m	用排水施設N=2箇所 用排水路L=800m 農道L=2,010m 農作業準備休憩施設 N=1箇所	必要性 A	25.0%	計画どおり進んでいる。 H22年度中に農道が進捗し、H23より用排水 路に着手する。	不安定な用水供給なら びに溢水・湛水被害 により農産物の生産 性低下を招いており、 早急な整備が必要で あり、事業の必要性は 高い。	重要性が高く、必要 性も認められる。	「継続」
						重要性 A	特記事項 特になし				
						効率性 A	B/C(費用対効果)=1.61				
						緊急性 B	住民参加状況等 受益者による維持管理の実施を検討。				
3	しもはら 下原 〔松本市〕	畑地かんがい工 A=119ha 農道工L=4,600m 〔工期:H22~H27〕	畑地かんがい工 設計1式	畑地かんがい工 A=56ha	畑地かんがい工 A=66ha 農道工L=4,600m	必要性 A	11.2%	計画どおり進んでいる H22年度中に畑かん施設設計(次年度工事 分)が完了し、H23より畑かん施設工事を実施	県内有数のスイカの 産地であり、営農条件 の改善のための畑地 かんがい施設の更新 や農道整備など事業 の必要性は高い。	重要性が高く、必要 性も認められる。	「継続」
						重要性 A	特記事項 特になし				
						効率性 A	B/C(費用対効果)=1.39				
						緊急性 B	住民参加状況等 受益者を含む地域住民による維持管理を検討。				
合計	3箇所	31億3600万円	3億5600万円	2億6638万6千円	10億8301万4千円		A: 配点の75%以上 B: 50%以上75%未満 C: 50%未満				